

「2024年パリ五輪までに2,500万台達成」との目標が設定された。

【第11回衛星放送協会 オリジナル番組アワード】

衛星放送協会は、9月7日に東京・よみうり大手町ホールで「第11回衛星放送協会 オリジナル番組アワード」の授賞式を開催し、番組部門6ジャンルの最優秀賞の中から選ばれる「グランプリ」に「BS12スペシャル 村本大輔はなぜテレビから消えたのか」(制作:BSトゥエルビ)を選出した。吉岡忍審査委員長は、この番組について「自粛や忖度によって切り縮められた笑いの無力さを突き、テレビの弱点を突き抜けようとするテレビ——その可能性に賭ける村本と制作者に拍手を送りたい」と述べている。

【クルードラゴン宇宙船による宇宙周回旅行の成功】

本稿執筆中の9月15日に、スペースX社の「クルードラゴン」宇宙船が打ち上げられた。米国の実業家のジャレッド・アイザックマン氏、元空軍飛行士のクリス・センブロスキー氏など4人の民間人が搭乗して、高度575kmの宇宙空間を周回する夢の宇宙旅行が実現した。同宇宙船は、3日後の9月18日に無事帰還している。

「クルードラゴン」は、NASA(米航空宇宙局)の委託を受けた民間企業のスペース社が開発した。直径4メートル、高さ8メートルの巨大な宇宙船で、すでに2020年から国際宇宙ステーションに滞在する宇宙飛行士の往復に使われているが、民間人のみによる飛行は初めてである。打ち上げには、スペースX社のファルコン9ロケットが使われた。

今年、1961年に旧ソ連のユーリ・ガガーリン飛行士が人類初の宇宙飛行に成功してから60年の節目に当たる。今や宇宙旅行者を乗せ自動操縦で90分に1回地球を周回するレベルに達している。

「クルードラゴン」に先立って、ヴァージン・ギャラクティック社の「スペースシップ2」宇宙船とブルーオリジン社の「ニューシェパード」宇宙船によるサブオービタル飛行が行われた。3社の特色を比較してみると次のようになる。

「スペースシップ2」は、母船と呼ばれる大型飛行機に吊り下げられて高度約14キロメートルまで飛行し、その後母船から切

り離されてロケットの推進力で高度約80キロメートルに到達する。宇宙船は有翼機の形状をしており着陸時には滑走路を使う。「ニューシェパード」は、打ち上げロケットと宇宙船の2段階構成になっている。ロケットから切り離された宇宙船は、高度約100キロメートルの宇宙空間に到達する。地球への帰還時には、宇宙船に搭載された3個のパラシュートを開いて着陸する。

「クルードラゴン」は、ファルコン9ロケットで打ち上げられ、ロケットから切り離された後、高度約580キロメートルの周回軌道に投入され90分に1回地球を周回する。帰還は、フロリダ沖の海面着水となる。

【サテライト国際会議・展示会2021】

第40回「サテライト国際会議・展示会2021」(主催:Access Intelligence Satellite Group社)は、9月7日から10日までメリーランド州のナショナル・ハーバー・コンベンション・センターで開催された。当初3月15日から18日にかけて開催することになっていたが新型コロナウイルスの感染が収まらず9月まで延期された。緊急事態宣言下ということもあり、筆者は残念ながら出席できなかったが、Via Satellite誌のレポート、親しい報道関係者、参加できた衛星通信業界の知人などから入手した情報をもとにとりあえず概要を紹介する。

まず、注目の基調講演者には、インド Bharti Enterprises 社の Sunil Bharti Mittal 会長が選ばれた。昨年は、「Starlink」低軌道周回衛星(LEO)コンステレーションを推進するSpaceX社のイーロン・マスクCEOが務めて注目を集めたが、今年は、「Starlink」と競合する「OneWeb」と呼ばれるLEOコンステレーションの強力な後ろ盾となっている Bharti Mittal 会長が脚光を浴びた。

コロナ禍がいまだに収束していない環境下ということもあってオンラインで登場した Bharti Mittal 会長は、「OneWeb社とAT&T社との戦略的パートナーシップ契約」を発

表して大きなニュースとなった。OneWeb社は、すでに英国のBTグループや米 Alaska Communications社との提携を公表しているが、相手がAT&T社ということもあり反響が大きかった。

Bharti Mittal 会長は、「これを契機に来年の末にかけてさらに多くの通信事業者と契約を結んでいく」と強調している。LEO衛星によるユニバーサル・コネクティビティの実現には、大手通信事業者との提携が欠かせないと判断と思われる。最後に Bharti Mittal 会長は、「OneWeb」コンステレーションの第2世代計画にも触れたが、肝心な詳細は公表されなかった。

初日の開幕を飾った会議は、「Operators Balance New Space Excitement with Closing the Customer Business Case」で、LEOオペレーターが3社(OneWeb、SpaceX、Iridium Communications)、静止衛星(GEO)オペレーターが1社(Arabsat)出席した。

会期の初日には、「Operators Seek Diverse Business Models to Add Value」と題する討論会も開催され、Hughes Network Systems(HNS)、Intelsat、Yahsat、SESの4社が参加した。

会期2日目のセッションのハイライトは、「The Satellite Industry's Future in a Hyper-connected World」であった。衛星通信業界の将来に焦点を当てたこの会議には、SES社、ST Engineering iDirect社、SpaceX社、Facebook社の代表が出席した。

紙面の都合上、これらのセッションについては、次号でレポートすることにする。

Naoakira Kamiya
衛星システム総研 代表
メディア・ジャーナリスト

ハイビジョン伝送・災害・報道・海外派遣

SATCUBE

【驚愕の超小型平面アンテナ!】

スタンダードなSCPCでのSNGモデルに加え2020年7月に新しくスタートしたスカパーJSAT社の新サービス「Sat-Q」モデルもラインナップ。お客様の運用にマッチした利用が簡単にできます。放送などのHD映像伝送・災害通信・海外通信・企業のBCP向けなど幅広く利用可能です。

<SATCUBEアンテナの特長>

- 47cm x 30cm x 5.5cmビジネスバッグに入ります!
- SCPCモデル・Sat-Qモデル・各種あり
- 災害/報道/海外派遣映像音声伝送インターネット接続/ハイビジョン伝送可能
- わずか1分で通信可能組立不要・工具不要
- 衛星捕捉は内蔵ディスプレイのアシスト機能で素早く簡単
- 航空機持込可能バッテリーで運用可(約3時間運用可能)
- 運用中のバッテリー交換可(ホットスワップ対応)
- モバイル中継装置(TVU・Live U・スマテレ等)と連携可

Communications k.k. エーティコミュニケーションズ株式会社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14
TEL: 03-5772-9125 http://www.bizsat.jp